



## PCM Native | REVERB BUNDLE

ソフトウェアバージョン 1.04 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は PCM Native Reverb Bundle ソフトウェアバージョン 1.04 をもとに作成したソフトウェアマニュアルです。機器の設定および接続は、お持ちのソフトウェアのバージョンによって内容が異なることがあります。安全にお使いいただくために、ご使用前にこのマニュアルを必ずお読みください。また、このマニュアルは、お読みになった後もいつでも見られる場所に保管してください。

## ■はじめに

このたびは Lexicon PRO PCM Native Reverb Bundle をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に必ず本書をお読みいただき、内容を良くご理解された上で正しくお使いください。

### ●保証書について

- ・保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。保証書記載事項に基づき、無償交換等を保証させていただきます。お問い合わせはお買い上げの販売店までご依頼ください。
- ・お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- ・以下のような場合は期間内であっても保証の対象外となります。
  - ・ 通常の使用範囲を超えた取り扱いによる故障
  - ・ 接続した機器が要因で起きた不具合
  - ・ 設計・製造以外の要因で起きた不具合

### ●故障かな？と思われる症状が出たときには

このマニュアルをもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

## ■本製品のアフターサービスについて

本製品は日本における正規輸入代理店であるヒビノ株式会社が輸入した製品です。アフターサービス等をご希望の場合はご購入された販売店（保証書に記載）にご依頼ください。販売店にて各社規定のアフターサービスを行います。また、ご依頼際には保証書の提示が必要です。保証書の提示がない場合は、アフターサービスなどが受けられないことがあります。保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

## ■梱包内容の確認

パッケージに次のものが入っていることを確認してください。

- ・ ソフトウェア CD-ROM
- ・ iLok ライセンスコード
- ・ 和文取扱説明書（本書）
- ・ 英文取扱説明書
- ・ 保証書

万一足りないものがありましたら、購入された販売店までお問い合わせください。

## ■目次

■はじめに .....	2
●保証書について .....	2
●故障かな?と思われる症状が出たときには .....	2
■本製品のアフターサービスについて .....	2
■梱包内容の確認 .....	2
■目次 .....	3
■ソフトウェアのインストール .....	4
●iLok 認証 .....	4
■プログラムの起動 .....	5
■リアルタイムディスプレイ .....	6
■EQ セクション .....	7
■フェーダーエリア .....	8
■コントロールセクション .....	8

■パラメーターとナビゲーションの編集 .....	9
● Soft Rows: ソフトロー編集ページ .....	9
● Input & Mix: 入力&ミックス編集ページ .....	10
● Reverb: リバース編集ページ .....	10
● Reflections / Echoes: 反射音、残響音編集ページ .....	11
● Room: ルーム調整ページ .....	11
■ファクトリープリセット .....	12
●プリセットの読み込み .....	12
●プリセットの保存と管理 .....	13
●ポータブルプリセット .....	14
●ポータブルプリセットの保存先 .....	15
■コンピューターの能力を最大限活用するために .....	15

## ■ ソフトウェアのインストール

PCM Native Reverb Bundle は以下のシステム環境で動作します。

### ・ Macintosh

CPU	PowerPC G5 1.8GHz もしくは Intel Mac
メモリー	1GB RAM 以上
HD 空き容量	500MB 以上
ディスプレイ解像度	1280 × 800 以上
ドライブ	コンボドライブもしくはスーパードライブ
OS	Mac OS X 10.4.10 以降
プラグイン規格	Audio Unit、VST 2.4 以降、ProTools 7.3 以降

### ・ Windows

CPU	1.6GHz 以上の Intel もしくは AMD プロセッサー
メモリー	1GB RAM 以上
HD 空き容量	100MB 以上
ディスプレイ解像度	1280 × 800 以上
ドライブ	CD または DVD-ROM ドライブ
OS	Windows XP/Vista/7
プラグイン規格	VST 2.4 以降、ProTools 7.3 以降

①同梱の CD-ROM をお手持ちのコンピューターに挿入してください。インストーラーが自動的に起動します。インストーラーが自動的に起動しない場合は CD-ROM 内の以下のアプリケーションをダブルクリックしてください。

Mac: PCM Native Reverb Plug-in.mpkg

Windows: setup.exe

②インストーラーが起動したら画面の指示に従いインストールを完了してください。

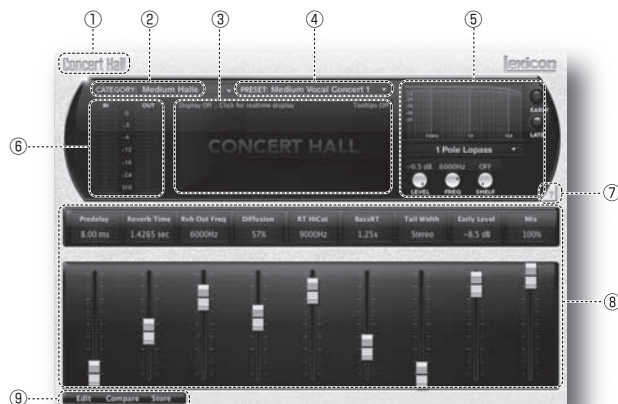
## ● iLok 認証

プラグイン内のプログラムを使用する前に iLok USB キーにライセンス認証を行う必要があります。iLok 認証を完了していない場合、プログラム起動時の認証動作が行えず、PCM Native Reverb Bundle を使用できません。iLok 認証の詳細は <http://www.iLok.com> を参照してください。

※本プラグインは認証済の iLok USB キーを USB ポートに挿入した状態でのみ使用できます。また、iLok USB キーは本製品には同梱していません。お持ちでない場合は別途購入する必要があります。

## ■プログラムの起動

プラグインが認証されると以下の画面が表示されます。



### ①アルゴリズム名

読み込みを行ったリバーブアルゴリズムの名称を表示しています。

### ②プリセットカテゴリ

各リバーブアルゴリズム内で大まかに分類されたカテゴリを表示します。例えばホールアルゴリズムはスモールホール、ミディウムホールなどのカテゴリに分かれています。プリセットカテゴリをクリックするとアルゴリズムに含まれるカテゴリがリスト表示され、カテゴリを選択するとカテゴリを読み込みます。

### ③リアルタイムディスプレイ

リバーブ処理後の信号を表示するディスプレイです。3つの表示形式があり、任意で切り替え可能です。詳しくは6ページの「■リアルタイムディスプレイ」を参照してください。

### ④プリセットセレクター

クリックすると選択したカテゴリに含まれるプリセットをリスト表示します。希望のプリセットを選択してプラグインに読み込みます。

### ⑤EQセクション

初期反射音、後部残響音ごとに調整を行えるイコライザーフィルターの設定を行います。詳しくは7ページの「■EQセクション」を参照してください。

### ⑥入出力メーター

入力信号、出力信号を個別に表示するステレオ・レベルメーターです。

### ⑦ヘルプスイッチ

スイッチをONにすると、カーソルの位置に合わせてヘルプウィンドウを表示します。

### ⑧フェーダーエリア

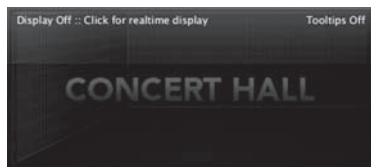
各パラメーターの調整を行う最大9本のフェーダーです。詳しくは8ページの「■フェーダーエリア」を参照してください。

### ⑨コントロールセクション

全パラメーターの編集ページを呼び出す [Editスイッチ]、処理前の信号との比較を行える [Compareスイッチ]、プリセットの保存を行う [Storeスイッチ] があります。詳しくは8ページの「コントロールセクション」を参照してください。

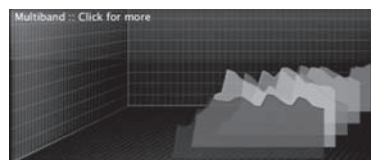
## ■リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイではリバーブ効果を 3 つの方式で視覚的に表示します。表示はディスプレイ内をクリックすることで順番に切り替わります。



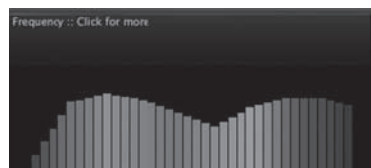
### • Display Off

ディスプレイ表示を OFF にした状態です。デフォルトの画面に設定されており、CPU の負荷が最も少ない表示形式です。



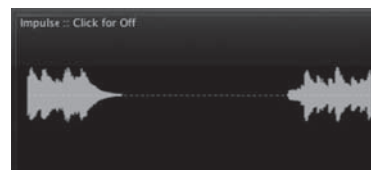
### • Multiband

周波数帯域を 5 分割して信号レベルを表示します。低域の周波数が背面側で、時間ごとに右から左にイメージが移動します。



### • Frequency

周波数帯域全体を 1 つのグラフとして表示します。一般的な RTA メーターと同様で低域の周波数が左側です。

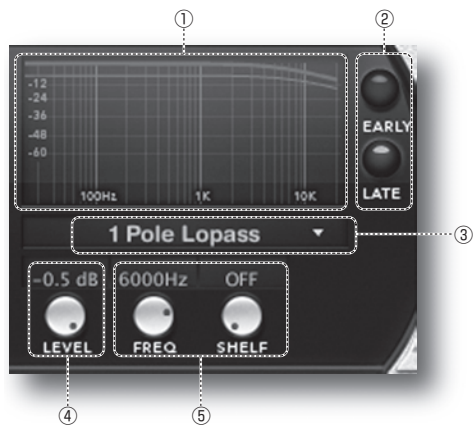


### • Impulse

信号の単一インパルス応答を表示します。時間ごとに左へイメージが移動します。

## ■ EQ セクション

出力のイコライジングを調整します。



### ① イコライザーディスプレイ

イコライジングカーブを表示するディスプレイです。初期反射音、後部残響音で選択している側のカーブが手前に表示されます。

### ② Early/Late スイッチ

初期反射音、後部残響音でどちらのイコライジングを調整するかを決定します。初期反射音 (Early) は反射音、直接反響音、ルーム特性を含み、後部残響音 (Late) はリバーブテールを含んでいます。

### ③ EQ タイプセレクター

以下の EQ タイプから選択します。

- Single-pole lowpass 単極ローパスフィルター (6dB/oct)
- Single-pole highpass 単極ハイパスフィルター (6dB/oct)
- Double-pole lowpass 双極ローパスフィルター (12dB/oct)
- Double-pole highpass 双極ハイパスフィルター (12dB/oct)
- bandpass バンドパスフィルター
- notch ノッチフィルター

### ④ Level つまみ

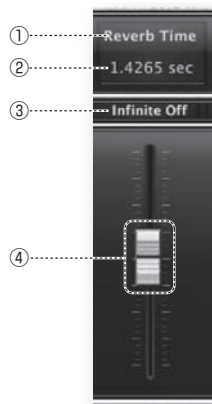
選択しているイコライジングカーブの全体的な出力レベルを調整します。マウスでドラッグしながら上下に動かす、もしくは数値を入力することで調整できます。

### ⑤ FREQ/SHELF つまみ

選択しているイコライジングカーブの周波数 (FREQ) およびシェルビング (SHELF) を調整します。マウスでドラッグしながら上下に動かす、もしくは数値を入力することで調整できます。また、バンドパスフィルターまたはノッチフィルターを選択している場合は bandwidth つまみになります。

## ■フェーダーエリア

プリセットのパラメーター調整を行うエリアです。デフォルトではソフトロー編集ページが表示されます。ソフトロー編集ページはプリセットごとに使用頻度の高い項目のみを集めた編集ページです。各フェーダー上部には割り当てられた機能およびパラメーター値が表示されます。



- ①パラメーター名
- ②パラメーター値
- ③モディファイスイッチ

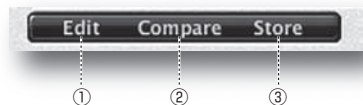
特定のパラメーターで現れるスイッチです。パラメーター自体を変化させるスイッチで、この表示の場合、スイッチを押すことでリバース時間を無限大に変更します。

- ④フェーダー

フェーダーをマウスでドラック、もしくはマウスホイールをクリックすることで調整できます。

## ■コントロールセクション

全パラメーターの編集ページを呼び出す [Edit スイッチ]、処理前の信号との比較を行える [Compare スイッチ]、プリセットの保存を行う [Store スイッチ] があります。



- ① Edit スイッチ

プリセットに含まれる全パラメーターの編集ページを呼び出すスイッチです。スイッチを押すとスイッチ右側にナビゲーションスイッチが追加され、各スイッチを押すことに該当するパラメーターがフェーダーエリアに表示されます。詳しくは 9 ページの「■パラメーターとナビゲーションの編集」を参照してください。

- ② Compare スイッチ

スイッチを押すと一時的に選択したプリセットを OFF にし、リバース処理前の信号を検聴できます。押した状態ではパラメーターの調整を行えません。再度スイッチを押すことでプリセットに復帰します。

- ③ Store スイッチ

設定したプリセットの保存及び管理を行います。詳しくは 14 ページの「●ポータブルプリセット」を参照してください。



## ■パラメーターとナビゲーションの編集

[Edit] スイッチを ON にすると、スイッチ右側に追加のナビゲーションスイッチが表示されます。名称や項目数は選択したアルゴリズムによって異なり、スイッチをクリックすると対応するパラメーター項目がフェーダーエリアに呼び出されます。



### ● Soft Rows: ソフトロー編集ページ

[Soft Rows] は最初の画面で表示される編集ページです。プリセットごとに使用頻度の高い項目で構成しており、基本的にソフトロー編集ページに表示される項目を調整すれば概ね希望する効果を得ることができます。また、表示項目を自由にカスタマイズすることも可能です。

#### ・ソフトロー編集ページのカスタマイズ

ソフトローの割り当てはプリセットに属しており、変更した場合はユーザープリセットとして保存する必要があります。変更する場合は [Edit] スイッチを押した後、[Soft Rows] スイッチを押してください。以下のディスプレイになります。



フェーダー上部にあるモディファイエリアに現在割り当てられているパラメーターの名称が表示されます。パラメーターをクリックするとアルゴリズムに属する全てのパラメーターがリスト表示され、希望のパラメーターを選択することで割り当てを変更します。割り当てたパラメーターは各編集ページにも重複して存在しています。

また、イコライザーセクションなど、全ての項目を割り当てられます。同一の項目を複数割り当てすることも可能です。割り当てが完了したらユーザープリセットとして保存してください。ユーザープリセットを読み込めばいつでも設定したソフトロー編集ページで調整を行えます。

## ● Input & Mix: 入力&ミックス編集ページ

入力およびミックスパラメーターの調整を行います。Predelay のモディファイエリアには [Absolute/Tempo] スイッチがあります。Absolute の場合はディレイ時間がミリ秒単位で表示され、Tempo の場合はリズムによる値が表示され、プラグインを使用しているテンポによりディレイ時間が変化します。



## ● Reverb: リバーブ編集ページ

選択したアルゴリズムに応じたリバーブ設定を行います。編集ページには [Infinite] スイッチ (リバーブの残響が無限大に続く効果) と [Damping] スイッチ (残響音の広域周波数での減衰の調整。空間での音の吸収に類似したパラメーター) があります。



## ● Reflections/Echoes: 反射音、残響音編集ページ

PCM Native Reverb Bundle は以下の 2 タイプのディレイ音を搭載しています。この編集ページではそれぞれ個別に調整を行えます。

- ・ Reflection (反射音) 入力から出力に送られるシンプルなディレイ音です。ディレイ時間、出力レベル、位相を調整できます。
- ・ Echoes (残響音) 反射音に似ていますが、ディレイ音を入力に戻す調整を追加しています。



## ● Room: ルーム調整ページ

インパルス応答で構成したルームアルゴリズムの調整を行います。



## ■ ファクトリープリセット

各プラグインは Lexicon が長年の研究・開発により生み出した各種ファクトリープリセットを搭載しています。ファクトリープリセットはカテゴリー（ミディアムホールやラージホールなど）にグループ分けされており、希望の音質を探すのに便利です。用途に合わせて膨大なプリセットを用意しているため、プリセットを選択するだけでほとんどのアプリケーションに対応します。

## ● プリセットの読み込み

プリセットカテゴリー欄をクリックするとカテゴリーリストが表示されます。希望のカテゴリーを選択してください。その後、プリセットセレクターをクリックすることで、カテゴリー内のプリセットをリスト表示します。希望のプリセットを選択することでプリセットをプラグインに読み込みます。



## ●プリセットの保存と管理

PCM Native Reverb Bundle を読み込むと使用している DAW ソフトウェアの規格に準じて左図のようなディスプレイが表示されます (以下のディスプレイは Logic でのディスプレイです)。



DAW ソフトウェアによってはソフトウェア上でプリセットを保存する機能があります。DAW 側で保存を行った場合は使用している DAW ソフトウェア上でのみ PCM Native Reverb Bundle のプリセットを使用できます。複数の DAW ソフトウェアで PCM Native Reverb Bundle を使用する場合は次ページの「●ポータブルプリセット」として保存を行ってください。

## ●ポータブルプリセット

PCM Native Reverb Bundle は作成したユーザープリセットをポータブルプリセットとして保存できます。ポータブルプリセットとして保存した場合はプリセットをコンピューター上の複数の DAW ソフトウェアで使用できるほか、USB メモリー等を使用することで他のコンピューター (Windows や Mac) でも使用できます。

保存は以下の方法で行ってください。

①プリセットの作成が完了したらディスプレイ左下にある [Store] スイッチを押してください。以下のディスプレイが表れます。



- ②ディスプレイ上部には使用しているアルゴリズムでこれまで作成したユーザープリセットがアルファベット順に表示されます。作成済のユーザープリセットをクリックすると下部に [Replace]、[Delete] スイッチが表示されます。[Replace] スイッチをクリックすると選択したプリセットへの上書き保存、[Delete] スイッチをクリックすると選択したプリセットの削除を実行します。
- ③ディスプレイ下部には保存前のプリセット名が表示されています。エリアをクリックし、希望の名称を入力した後、[Store] スイッチを押して保存を行ってください。[Cancel] スイッチを押すと保存をキャンセルし、プリセット編集画面に戻ります。

## ●ポータブルプリセットの保存先

ポータブルプリセットは以下の場所に保存されます。

※斜体部はコンピューター側のアカウント名や使用しているアルゴリズムにより異なる部分です。

- **Mac**

*/Home/Library/Application Support/LexiconPro/Native/User Presets/AlgorithmName*

- **Windows Vista**

*Users/username/appdata/usertype/Lexicon PCM Native/User Presets/AlgorithmName*

- **Windows XP**

*Document and Settings/username/Application Data/Lexicon PCM Native/User Presets/AlgorithmName*

## ■コンピューターの能力を最大限活用するために

プラグインは非常に効率的に動作しますが、コンピューターの負荷がかかる場合は以下の処置を行ってください。

- リアルタイムディスプレイの表示を OFF にする
- ミックス処理をリアルタイムで行っていない場合はプラグインエディターを閉じる

# Lexicon®

Lexicon PROはA Harman International Companyのブランドです。その他、このカタログに記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

2010年3月版

**HIBINO**

<http://www.hibino.co.jp/>  
E-mail: [proaudiosales@hibino.co.jp](mailto:proaudiosales@hibino.co.jp)

ヒビノ株式会社  
ヒビノプロオーディオセールス Div.  
営業部  
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12  
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111